

## 後期始業式での「校長講話」(後編)です。

前号(第387号)でお知らせしたとおり、10月2日(火)の後期始業式での「校長講話(美術館のすすめ)」(全文)の後編をお届けします。

### ◆10月2日の始業式での「校長講話」－後編－◆ タイトル:「美術館のすすめ」

- さて、今日は「美術館マニア」である私が、みなさんに美術鑑賞のテクニックを3つ伝授します。メモしなくても大丈夫です。いつものように校長通信「並木ドリーム」に掲載します。
- 1つ目。美術館、特に特別展には、必ず開館前に行きましょう。そして、まず目玉の作品に向かいます。最初の「開催のあいさつ」を読んでいるのはダメです。そして、目玉作品をじっくり鑑賞します。そのあと最初に戻ります。また、最後まで観たあと、反対方向に歩いてもう一度観るのもいいです。美術館の中は移動自由空間です。
- 2つ目、作品をいろいろな角度、いろいろな距離から観てください。印象派の絵画は、筆触分割という手法が使われているので、離れてみると色が混ざって見えます。また、高等テクニックですが、しゃがんで鑑賞してみてください。絵画というのは、暖炉の上などに飾り、見上げるものであり、作者はそれを意識して描いていると思うのです。これは、私の説です。もし美術館で、しゃがんでいる人がいたら、私かも知れません。だだ、混雑している時は、やらないようにね。そういう意味でも、朝一番に行くことが大切なのです。
- 3つ目、「美術館スコープ」という単眼鏡があります。こういうのです。これがあると、細かい部分や、画家の筆の運びまでが分かります。ゴッホやモネと会話することもできるのです。
- 最後に、1年次生から5年次生に、この秋おすすめの美術展覧会を紹介します。まず、水戸市にある茨城県近代美術館で開催中の「ポーラ美術館コレクション展」には、ぜひ行ってほしいです。私は、9月4日のオープニングセレモニーに出席しました。そのあと鑑賞していたら、取材を受け、翌日の読売新聞にコメントと写真が出ました。ドリーム第379号にも書いたように、会期は11月18日まで、土曜日は中高生入場無料です。
- また、東京都美術館の「ムンク展」では有名な「叫び」が来日します。上野の森美術館での「フェルメール展」は日時指定前売券が必要ですので気をつけてください。私がおすすめする美術展覧会については、校長室の前にチラシが貼ってありますので、参考にしてください。
- 6年次生の皆さん、今、ものすごく勉強していますね。授業中の皆さんの真剣な目や、各種模試のデータを見せてもらっています。10月になりました。受験勉強はここからが本番です。6年次生の皆さんには、チーム並木中等という「絆」があるとあります。ぜひ、みんなで力を合わせてチャレンジしてください。大いに期待をしています。
- それでは、最後に今日は歌います。曲は中島みゆきさんの「糸」です。今から20年前に発売された名曲です。みなさんも知っていると思います。今の自分を見つめて、歌詞を良く聴いてください。  
くアカペラで「糸」を熱唱(\*^\_^\*)!!>

